

事業名称	国際女性フェスタはりま 2021 「災害と女性・子ども」
団体名・代表者	国際女性フェスタはりま実行委員会・今里朱美
協働の相手方	市民局市民参画部男女共同参画推進課

目的	<p>目的</p> <p>女性が輝く社会の実現と、地域活性化を目指し、すべての女性が豊かな人生を送るべく、家庭のみならず職場でも女性の生き方を男女ともに考える機会を創出し、女性の活躍を推進する</p>
内容	<p>以下の2事業を実施した。</p> <p>① 啓発事業</p> <p>〈1〉大手前通りでのタペストリー掲出 大手前通りの該当へのタペストリー掲出を行った。 期間 2月20日から3月20日までの1カ月 枚数 86枚</p> <p>〈2〉飲食店でのオリジナルメニューの提供 当委員会の趣旨に賛同いただいた市内飲食店9店舗により、国際女性デーオリジナルメニューを開発、提供をいただいた。</p> <p>② イベント</p> <p>開催日 2021年3月7日（土）13時半から15時半 場所 コワーキングスペース電博堂 開催方法 ZOOMによるオンライン配信 参加者数 25名 講師・コメンテーター 勝木洋子 (姫路日ノ本女子短期大学 学長)</p> <p>内容 実行委員会メンバーによるコロナ禍と女性たちの現状発表</p>  
事業経過	10月より実行委員会を開始。コロナ禍であるためオンラインを基本として開催した。12月半ばから、飲食店によびかけ、「国際女性デー協賛メニュー」としてミモザをアレンジしたオリジナルメニューを店内のメニューに加えていただいた。3月7日はオンラインで国際女性フェスタはりま 2021 を実施した。
事業の効果	コロナ禍であるため、できるだけ啓発事業に力をオンラインで入れたのと、飲食店でのオリジナルメニュー展開を開催したところ、非常に好評であった。大手前通りのタペストリーも約1か月にわたり掲出できるなど、周知することができよかった。オンラインセミナーにしたことで、東京からの参加者もあるなど、より多くの人に届いたのではないかと思う。
今後の展望	来年度も実施予定で計画中。コロナ禍で、女性たちの居場所づくりが課題になる中、課題を浮き彫りになる活動をしていきたい。

【実施団体の事業総括・感想等】

実施当初より、コロナ禍での開催についてはオンラインを想定していたが、実施よりも当日までの準備のほうに課題が多かった。オンライン会議では限界があることや、一人に事務負担が多くなることなど、運営にはかなりの戸惑いを感じた。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

東日本大震災から10年が経ち、避難所運営など防災面でも女性の視点が重要視されている。こうした時期に大変有意義な内容の事業であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初の予定通り実施できなかったことは大変残念であった。今回の経験を活かし、オンライン開催等を積極的に取り入れることにより、より多くの人々に男女共同参画について考えるきっかけとなるよう期待したい。